



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

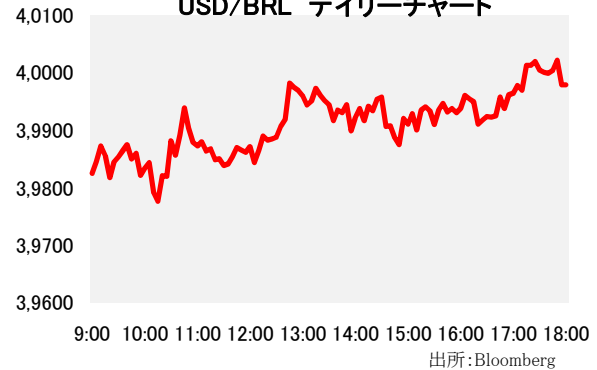
			2月5日	2月10日	2月11日	2月12日	2月15日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3,9030	3,9290	3,9920	4,0030	3,9970	-0,0060
	BRL/JPY	Spot	29,95	28,95	28,11	28,30	28,70	+0,40
	EUR/USD	Spot	1,1143	1,1270	1,1331	1,1254	1,1150	-0,0104
	USD/JPY	Spot	116,92	113,78	112,29	113,25	114,71	+1,46
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14,431	14,332	14,376	14,351	14,318	-0,033
	Future	1Year(p.a.)	14,610	14,492	14,543	14,504	14,482	-0,022
	On-shore	6MTH(p.a.)	3,048	3,162	3,354	3,132	3,055	-0,077
	USD	1Year(p.a.)	3,510	3,624	3,729	3,622	3,613	-0,009
株式	Bovespa指数		40.592	40.377	39.318	39.808	40.093	285
CDS	CDS Brazil 5y		470,33	483,78	502,36	494,59	496,60	+2,01
商品	CRB指数		161,932	156,399	155,010	160,363	160,363	u,c,

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

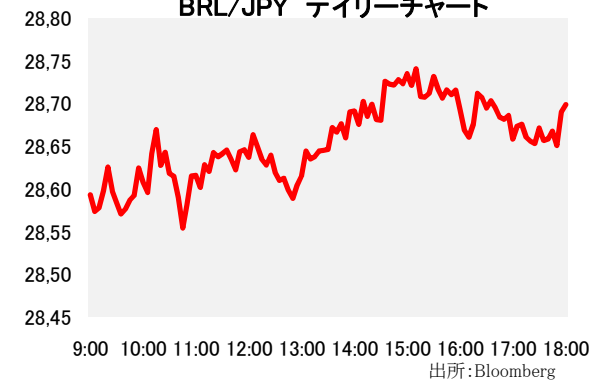
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
貿易収支(週次)	--	\$131m	\$1162m
(中)貿易収支	\$60.60b	\$63.29b	\$60.09b
(中)輸出(前年比)	-1.8%	-11.2%	-1.4%
(中)輸入(前年比)	-3.6%	-18.8%	-7.6%

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



3. 要人コメント

ドラギECB総裁	市場の波乱が物価安定にリスクをもたらせばECBは行動する
----------	------------------------------

4. トピックス

- 本日のレアルは4.0010で寄り付いた。
- 本日は米国市場が祝日で休場の為、レアル市場の流動性は極めて低く、限定的な値動きとなった。中国の貿易収支が予想以上に伸びたことを好材料にリスクオンモードが見られると、レアルも寄り付き後一気に3.97台後半まで上昇、直ぐさま本日の高値となる3.9770を付けた。
- しかし国内ではブラジルの財政調整に対する懸念が売り材料となり、レアルはじりじりと下落、引け間際に本日の安値となる4.0040を付け、結局3.9970でクローズした。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、2016年の経済成長率予想が-4.00%から-4.20%に下方修正されたほか、2016年末のインフレ予想が7.56%から7.61%に上方修正された。
- WTI先物は続伸、ほぼ1週間振りに1バレル当たり30ドルを超えた。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作権であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。